

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第128期第2四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）
【会社名】	神姫バス株式会社
【英訳名】	SHINKI BUS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 上杉 雅彦
【本店の所在の場所】	兵庫県姫路市西駅前町1番地
【電話番号】	079（223）1243
【事務連絡者氏名】	企画部長 永井 勝浩
【最寄りの連絡場所】	兵庫県姫路市西駅前町1番地
【電話番号】	079（223）1243
【事務連絡者氏名】	企画部長 永井 勝浩
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社によるグループ内における内部監査の結果、連結子会社である株式会社ホープ及び株式会社エルテオ（商号変更前 株式会社エルテオ・ホーム）において、同連結子会社元代表者による会社資産の不正な私的流用の疑いがあることが判明しました。

これを受けて、神姫バスグループでは、外部専門家を加えた調査委員会を設置し、本件に関するより詳細かつ正確な事実関係の解明に着手してまいりました。

調査委員会による調査の結果、上記連結子会社の代表者を兼務していた元代表者が、架空工事及び水増し工事を上記連結子会社に発注させて、その工事代金の一部を私的に利用していたことが明らかとなりました。これに伴い、不適切な会計処理の訂正を行う必要が生じたため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成22年11月15日に提出しました第128期第2四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、訂正後の四半期連結財務諸表については、新日本有限責任監査法人により改めて四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第127期 第2四半期連結 累計期間	第128期 第2四半期連結 累計期間	第127期 第2四半期連結 会計期間	第128期 第2四半期連結 会計期間	第127期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	19,725	20,220	10,100	10,229	39,471
経常利益(百万円)	854	765	529	264	1,391
四半期(当期)純利益 (百万円)	438	512	305	306	1,392
純資産額(百万円)	-	-	28,605	29,676	29,363
総資産額(百万円)	-	-	43,954	44,817	44,752
1株当たり純資産額(円)	-	-	936.95	980.69	970.17
1株当たり四半期(当期)純利 益金額(円)	14.41	16.98	10.04	10.15	45.83
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	64.87	66.00	65.40
営業活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	2,814	2,812	-	-	4,703
投資活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	869	1,883	-	-	3,015
財務活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	843	720	-	-	1,275
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	6,785	6,305	6,096
従業員数(人)	-	-	3,135	3,178	3,144

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第127期 第2四半期連結 累計期間	第128期 第2四半期連結 累計期間	第127期 第2四半期連結 会計期間	第128期 第2四半期連結 会計期間	第127期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	19,725	20,220	10,100	10,229	39,471
経常利益(百万円)	854	765	529	264	1,391
四半期(当期)純利益 (百万円)	438	501	305	306	1,392
純資産額(百万円)	-	-	28,605	29,666	29,363
総資産額(百万円)	-	-	43,954	44,808	44,752
1株当たり純資産額(円)	-	-	936.95	980.35	970.17
1株当たり四半期(当期)純利 益金額(円)	14.41	16.64	10.04	10.15	45.83
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	64.87	66.00	65.40
営業活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	2,814	2,802	-	-	4,703
投資活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	869	1,873	-	-	3,015
財務活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	843	720	-	-	1,275
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	6,785	6,305	6,096
従業員数(人)	-	-	3,135	3,178	3,144

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載してありませ
ん。

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

また、当社は、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,914	6,535
受取手形及び売掛金	1,753	1,678
未収運賃	516	712
有価証券	110	120
商品及び製品	384	355
仕掛品	139	76
分譲土地建物	1,205	1,453
原材料及び貯蔵品	101	104
その他	813	1,581
貸倒引当金	16	23
流動資産合計	11,922	12,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,930	21,299
減価償却累計額	14,742	14,422
建物及び構築物(純額)	7,188	6,876
機械装置及び工具器具備品	2,555	2,549
減価償却累計額	2,079	2,071
機械装置及び工具器具備品(純額)	476	478
車両運搬具	13,088	13,512
減価償却累計額	10,785	11,115
車両運搬具(純額)	2,302	2,397
土地	15,049	14,672
リース資産	2,514	1,868
減価償却累計額	560	362
リース資産(純額)	1,953	1,506
建設仮勘定	122	82
有形固定資産合計	27,093	26,013
無形固定資産		
施設利用権	209	171
無形固定資産合計	209	171
投資その他の資産		
投資有価証券	3,090	3,352
その他	2,548	2,667
貸倒引当金	46	47
投資その他の資産合計	5,591	5,973
固定資産合計	32,895	32,158
資産合計	44,817	44,752

(単位:百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成22年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144	1,080
短期借入金	355	385
1年内返済予定の長期借入金	626	990
リース債務	482	360
未払金	2,316	2,465
未払法人税等	521	730
未払消費税等	-	152
事故補償引当金	21	21
賞与引当金	1,040	844
役員賞与引当金	-	80
過年度雑収計上旅行券引当金	12	12
その他	1,947	1,498
流動負債合計	8,467	8,621
固定負債		
長期借入金	1,526	1,582
リース債務	1,559	1,216
退職給付引当金	493	481
役員退職慰労引当金	310	323
受入保証金	1,677	2,114
負ののれん	7	8
その他	1,099	1,041
固定負債合計	6,673	6,767
負債合計	15,141	15,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	23,834	23,397
自己株式	412	409
株主資本合計	28,796	28,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	784	906
評価・換算差額等合計	784	906
少数株主持分	95	94
純資産合計	29,676	29,363
負債純資産合計	44,817	44,752

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,914	6,535
受取手形及び売掛金	1,753	1,678
未収運賃	516	712
有価証券	110	120
商品及び製品	384	355
仕掛品	139	76
分譲土地建物	1,205	1,453
原材料及び貯蔵品	101	104
その他	813	1,581
貸倒引当金	16	23
流動資産合計	11,922	12,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,930	21,299
減価償却累計額	14,742	14,422
建物及び構築物(純額)	7,188	6,876
機械装置及び工具器具備品	2,555	2,549
減価償却累計額	2,079	2,071
機械装置及び工具器具備品(純額)	476	478
車両運搬具	13,088	13,512
減価償却累計額	10,785	11,115
車両運搬具(純額)	2,302	2,397
土地	15,040	14,672
リース資産	2,514	1,868
減価償却累計額	560	362
リース資産(純額)	1,953	1,506
建設仮勘定	122	82
有形固定資産合計	27,083	26,013
無形固定資産		
施設利用権	209	171
無形固定資産合計	209	171
投資その他の資産		
投資有価証券	3,090	3,352
その他	2,558	2,667
貸倒引当金	56	47
投資その他の資産合計	5,591	5,973
固定資産合計	32,885	32,158
資産合計	44,808	44,752

(単位:百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成22年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144	1,080
短期借入金	355	385
1年内返済予定の長期借入金	626	990
リース債務	482	360
未払金	2,316	2,465
未払法人税等	521	730
未払消費税等	-	152
事故補償引当金	21	21
賞与引当金	1,040	844
役員賞与引当金	-	80
過年度雑収計上旅行券引当金	12	12
その他	1,947	1,498
流動負債合計	8,468	8,621
固定負債		
長期借入金	1,526	1,582
リース債務	1,559	1,216
退職給付引当金	493	481
役員退職慰労引当金	310	323
受入保証金	1,677	2,114
負ののれん	7	8
その他	1,099	1,041
固定負債合計	6,673	6,767
負債合計	15,141	15,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	23,823	23,397
自己株式	412	409
株主資本合計	28,786	28,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	784	906
評価・換算差額等合計	784	906
少数株主持分	95	94
純資産合計	29,666	29,363
負債純資産合計	44,808	44,752

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	19,725	20,220
売上原価	14,664	15,133
売上総利益	5,061	5,086
販売費及び一般管理費	4,254	4,373
営業利益	806	712
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	23	18
持分法による投資利益	5	8
その他	62	58
営業外収益合計	104	96
営業外費用		
支払利息	23	17
固定資産除却損	16	14
その他	16	11
営業外費用合計	55	43
経常利益	854	765
特別利益		
運行補償金	19	136
解約保証金等受入益	-	457
特別利益合計	19	594
特別損失		
固定資産圧縮損	-	75
減損損失	-	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	109
特別損失合計	-	396
税金等調整前四半期純利益	874	963
法人税等	434	449
少数株主損益調整前四半期純利益	-	513
少数株主利益	1	1
四半期純利益	438	512

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	19,725	20,220
売上原価	14,664	15,133
売上総利益	5,061	5,086
販売費及び一般管理費	4,254	4,373
営業利益	806	712
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	23	18
持分法による投資利益	5	8
その他	62	58
営業外収益合計	104	96
営業外費用		
支払利息	23	17
固定資産除却損	16	14
その他	16	11
営業外費用合計	55	43
経常利益	854	765
特別利益		
運行補償金	19	136
解約保証金等受入益	-	457
特別利益合計	19	594
特別損失		
固定資産圧縮損	-	75
減損損失	-	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	109
貸倒引当金繰入額	-	10
特別損失合計	-	407
税金等調整前四半期純利益	874	952
法人税等	434	449
少数株主損益調整前四半期純利益	-	503
少数株主利益	1	1
四半期純利益	438	501

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	874	963
減価償却費	916	1,105
減損損失	-	212
賞与引当金の増減額(は減少)	229	195
役員賞与引当金の増減額(は減少)	84	80
受取利息及び受取配当金	36	29
支払利息	23	17
持分法による投資損益(は益)	5	8
有形固定資産除却損	49	34
解約保証金等受入益	-	457
売上債権の増減額(は増加)	263	120
たな卸資産の増減額(は増加)	82	194
未払金の増減額(は減少)	190	235
未払消費税等の増減額(は減少)	155	119
その他	1,314	1,603
小計	3,116	3,514
利息及び配当金の受取額	36	29
利息の支払額	23	18
法人税等の支払額	315	712
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814	2,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	120	0
有形固定資産の取得による支出	879	1,770
その他	130	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	869	1,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	121	429
短期借入金の返済による支出	298	459
長期借入れによる収入	-	200
長期借入金の返済による支出	471	620
配当金の支払額	76	75
少数株主への配当金の支払額	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	108	211
その他	11	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	843	720
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,101	208
現金及び現金同等物の期首残高	5,684	6,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,785	6,305

(訂正後)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	874	952
減価償却費	916	1,105
減損損失	-	212
賞与引当金の増減額(は減少)	229	195
役員賞与引当金の増減額(は減少)	84	80
受取利息及び受取配当金	36	29
支払利息	23	17
持分法による投資損益(は益)	5	8
有形固定資産除却損	49	34
解約保証金等受入益	-	457
売上債権の増減額(は増加)	263	120
たな卸資産の増減額(は増加)	82	194
未払金の増減額(は減少)	190	235
未払消費税等の増減額(は減少)	155	119
その他	1,314	1,603
小計	3,116	3,504
利息及び配当金の受取額	36	29
利息の支払額	23	18
法人税等の支払額	315	712
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814	2,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	120	0
有形固定資産の取得による支出	879	1,761
その他	130	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	869	1,873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	121	429
短期借入金の返済による支出	298	459
長期借入れによる収入	-	200
長期借入金の返済による支出	471	620
配当金の支払額	76	75
少数株主への配当金の支払額	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	108	211
その他	11	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	843	720
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,101	208
現金及び現金同等物の期首残高	5,684	6,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,785	6,305

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(1 . 略)

2 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販 ・整備	業務受託	不動産	レジャー サービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,030	2,182	1,424	1,612	4,591	19,841	378	20,220
セグメント間の内部売上 高又は振替高	40	883	20	209_	88	1,242	271	1,513
計	10,070	3,066	1,444	1,822_	4,680	21,084	649	21,733
セグメント利益又はセグメン ト損失()	162	151	150	590	14	716	25	741

(後略)

(訂正後)

(1 . 略)

2 . 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販 ・整備	業務受託	不動産	レジャー サービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,030	2,182	1,424	1,612	4,591	19,841	378	20,220
セグメント間の内部売上 高又は振替高	40	883	20	205_	88	1,238	271	1,509
計	10,070	3,066	1,444	1,818_	4,680	21,080	649	21,729
セグメント利益又はセグメン ト損失()	162	151	150	590	14	716	25	741

(後略)

(1株当たり情報)
(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 980.69円	1株当たり純資産額 970.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 14.41円 (注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につ ては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 16.98円 (注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につ ては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	438	512
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	438	512
期中平均株式数(千株)	30,434	30,165

(後略)

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 980.35円	1株当たり純資産額 970.17円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 14.41円 (注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 16.64円 (注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	438	501
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	438	501
期中平均株式数(千株)	30,434	30,165

(後略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

神姫バス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 荒井 憲一郎 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 博信 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神姫バス株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神姫バス株式会社及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は、訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。